

平成24年度第4回（第8期第8回）浦安市廃棄物減量等推進審議会（議事要旨）

1 開催日時 平成25年1月21日（月）午後2時00分～午後3時30分

2 開催場所 消防庁舎3階大会議室

3 出席者

（委員）

下田会長、畑山副会長、吉本委員、高橋委員、木村委員、大川委員、荒井委員、  
坪井委員

（事務局）

長峰都市環境部長、大塚都市環境部次長、本田クリーンセンター長、熱海ごみ  
ゼロ課長、渋谷クリーン推進係長、高橋主任主事、瀬能尾主事

4 議 題

- （1）一般廃棄物処理基本計画最終案の確認について
- （2）パブリックコメントの実施について
- （3）その他（ビーナスニュース最新号、エコショップ認定店PRキャンペーン、  
小型家電リサイクル法、今後のスケジュールについて）

5 議事の概要

- （1）事務局よりそれぞれの項目について説明。各委員より意見、要望等を伺う。
- （2）事務局より各種お知らせ及び今後のスケジュールについて説明。

## 6 会議経過

会長が議事を進行した。

事務局より、平成 24 年度第 3 回の審議会、その後の各委員からのご意見、庁内の検討結果を受け修正した「一般廃棄物処理基本計画最終案について」及び「千葉市家庭ごみ有料化」について説明を行い、委員による質疑を行った。

主な質疑内容は次のとおり。

- ・委員            有料化についてデメリットはないのか。不法投棄などが懸念されるのではないか。
  
- ・事務局           千葉市の例では、有料化導入にあたって不法投棄、不適正排出が懸念されていることから、啓発、監視強化などの対策が、平成 25 年 1 月の千葉市の審議会の答申に盛り込まれている。
  
- ・会長            千葉市を事例として取り上げたのはなぜか。
  
- ・事務局           直近で有料化に取り組むことを示し、平成 25 年 1 月の千葉市の審議会において答申が出されたばかりでタイムリーであったこと、県内の自治体であり身近な例であることから取り上げた。
  
- ・委員            参考で申し上げる。(家電リサイクルに取り組む団体として、全国的な調査結果を報告していただいた) 家電リサイクル法が施行された当初、不法投棄が増えるのではないかと予測されていたが、実際はそれほど影響はなかった。
  
- ・委員            実施してみないとわからないということだろう。
  
- ・委員            有料化して減量に努めてごみが減った場合、収集回数を減らすなど、その後の対応は検討しているのか。
  
- ・事務局           現状においては詳細について検討していない。今後、ごみ排出量の

変化、有料化に関する調査・研究を進め有料化について検討する。  
有料化に関する記述は現状のとおりとしたい。

- ・ 委員           包装の仕方によってもごみ量が変わってくる。これについて計画に示してはどうか。
  
- ・ 会長           事業者の中で取り組みの中で示されている。
  
- ・ 事務局        計画に示した取り組みを踏まえ、事業者へ市から積極的にアプローチをしていきたい。
  
- ・ 委員           事業者、行政からの配布データを削減するために、情報をデータ化して、個人ごとに入手しやすくするとともに、ペーパーレスを普及して紙ごみの削減をすすめてはどうか。  
                  全日空等の企業の手法が参考となる。
  
- ・ 事務局        ごみになるものを作らない視点に立って、廃棄物処理に限らず、市全体の取り組みとしてデータ化、情報提供のあり方を検討していきたい。
  
- ・ 副会長        有料化については、調査・研究を重ねた上で、進めるべきである。  
                  ビーナスプラザ、出前ビーナス等、形にはなっているが、より実効性のある取り組みにしていく必要がある。  
                  公民館で実施している様々な講座があり、講座を修了した市民が活躍できるようにしてはどうか。
  
- ・ 委員           出前ビーナスに関しては利用促進を図る必要がある。
  
- ・ 事務局        ビーナス推進員の会合や自治会などの夏祭りの際、PTAなどに対しては積極的に開催したい。  
                  出前ビーナスは地域との交流、子供・親との意見交換、意識啓発を

図りやすい。これからも発展させていきたい。ただし、組織体制として限界があるので、状況を踏まえて実施したい。ごみゼロを推進していただける市民を育み、取り組みを充実していきたい。

- ・ 委員           必ずしも行政が主体で行う必要はない。
  
- ・ 事務局       市では、環境アドバイザーを育成しており、そうした方々に中心となっただけ出前ビーナスなどへの派遣も含めた取り組みの充実を図りたい。
  
- ・ 委員           本市では有料化について、どの段階にあるのか
  
- ・ 事務局       実施時期等の明確な方針は打ち出していない。広域的な対応も含め、慎重に検討して判断していきたい。
  
- ・ 委員           高齢者のごみ排出に関して市がサポートしている例がある。減量にはつながらないが行政サービスとして検討していく時期ではないか。
  
- ・ 事務局       過去においても検討した経緯はある。福祉関連の部署における検討結果を踏まえ対応していきたい。
  
- ・ 委員           高齢化してくると、分別がおろそかになることが危惧される。
  
- ・ 会長           福祉部門と連携して対応すべきことである。  
他に意見はないか。無ければこれで最終案としたい。意見があれば事務局にお願いしたい。

事務局より「パブリックコメントの実施について」説明を行い、委員による質疑を行った。

主な質疑内容は次のとおり。

- ・委員 通常、パブリックコメントでは、意見はどのくらいでるものなのか。
- ・事務局 パブリックコメントの内容により市民の反応が様々で明言できない。ごみのことは市民に身近なことなので様々な意見が出されることを期待したい。

事務局より「ビーナスニュース最新号」「エコショップ認定店PRキャンペーン」「小型家電リサイクル法最新情報」「今後のスケジュール」について説明を行い、委員による質疑を行った。

主な質疑内容は次のとおり。

- ・委員 ビーナスニュースに「このままごみを減らさないと有料化になりますよ。」などの記事を警告の意味で載せてはどうか。
- ・事務局 次号以降で検討したい。
- ・委員 エコセメントの現状はどうか。
- ・事務局 見通しがたっていない。その他の受け入れ先、リサイクル方法について調査・研究している。
- ・会長 他に意見はないか。無ければこれで終了としたい。